

-고서야

～してはじめて／～しては(とても)

二つの用法があります。「してはじめて」と、否定と組んで「してはは無理だ」。文脈で見分けます。

■ つけ方

用法	形	例
～してはじめて	-고서야	겪고서야 알았다
～しては(とても)	-고서야-겠는가	그러고서야 되겠어요?
パッチム	関係なし	가고서야
後ろ(用法1)	気づき・実現	알았다・깨달았다
後ろ(用法2)	反語	-겠어요? / 안 된다
近い形	-아/어서야	ほぼ同じ

■ 二つの用法

用法1：してはじめて。직접 겪고서야 그 마음을 알았어요 (自分で経験してはじめてその気持ちがわかりました)。それまでわからなかった、という含みです。

用法2：しては(とても)。그렇게 놀고서야 시험을 잘 볼 수 있겠어요? (そんなに遊んでいては試験がうまくいくでしょうか)。後ろに反語が来て、無理だと言外に示します。

見分けは後ろの形です。「わかった」なら用法1、「できるだろうか」なら用法2。日本語も「してはじめて」と「しては(とても)」で分かれるので、発想は同じです。

硬めの表現なので、話し言葉では -아/어서야 や単純な形が自然です。

■ 例文

- ① 직접 겪고서야 그 심정을 이해했어요.
自分で経験してはじめてその心情を理解しました。
- ② 잃고서야 소중한 것을 깨달았다.
失ってはじめて大切さに気づいた。
- ③ 그렇게 준비하고서야 성공할 수 있었습니까?
そんな準備で成功できるでしょうか。
- ④ 설명을 듣고서야 이해가 됐습니다.
説明を聞いてはじめて理解できました。
- ⑤ 매일 늦고서야 좋은 평가를 받을 수 있을까요?
毎日遅れていていい評価を受けられるでしょうか。
- ⑥ 사고가 나고서야 대책을 세웠다.
事故が起きてはじめて対策を立てた。

■ 紛らわしいもの

-아/어서야
ほぼ同じ意味で使われます。
겪고서야 / 겪어서야

-고 나서
単純な順序です。고서야 は「はじめて」という含みが加わりま
す。
겪고 나서 (後で) / 겪고서야 (はじめて)

-아/어야
「してこそ」で必須条件です。고서야 は実現後の気づきです。
겪어야 알아요. (条件) / 겪고서야 알았어요. (気づき)

■ まちがえやすい点

- ✗ 겪고서야 알아요.
○ 겪고서야 알았어요.
用法1では過去形で受けます。
- ✗ 그렇게 놀고서야 좋아요.
○ 그렇게 놀고서야 되겠어요?
用法2では反語で受けます。
- ✗ 겪고 서야
○ 겪고서야
続けて書きます。